

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030B4	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	昔 宣希 / Suk Sunhee		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	昔 宣希 / Suk Sunhee		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	昔 宣希 / Suk Sunhee		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	suksunhee@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環 4 0 7		
担当教員TEL / Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー / Office hours	08:50-17:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標 / Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード / Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
受講要件（履修条件） / Prerequisites	対面授業		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等(対面)
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第5回	グループワークの開始（１）(対面)
第6回	図書館資料収集ガイダンス(対面)
第7回	グループワーク（２）(対面)
第8回	グループワーク（３）(対面)
第9回	グループワーク（４）(対面)
第10回	教務委員によるポートフォリオの使い方の説明と実践(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク（５）(対面)
第13回	グループワーク（６）(対面)
第14回	グループワーク（７）(対面)
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030B5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ytomozawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環439		
担当教員TEL/Tel	095-819-2784		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜10:30-11:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等(対面)
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第5回	グループワークの開始（１）(対面)
第6回	図書館資料収集ガイダンス(対面)
第7回	グループワーク（２）(対面)
第8回	グループワーク（３）(対面)
第9回	グループワーク（４）(対面)
第10回	教務委員によるポートフォリオの使い方の説明と実践(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク（５）(対面)
第13回	グループワーク（６）(対面)
第14回	グループワーク（７）(対面)
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030B6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	本庄 萌		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	本庄 萌		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	本庄 萌		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mhonjo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環426室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2719		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時（事前にメールでアポイントメントをとること）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等(対面)
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第5回	グループワークの開始（１）(対面)
第6回	図書館資料収集ガイダンス(対面)
第7回	グループワーク（２）(対面)
第8回	グループワーク（３）(対面)
第9回	グループワーク（４）(対面)
第10回	教務委員によるポートフォリオの使い方の説明と実践(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク（５）(対面)
第13回	グループワーク（６）(対面)
第14回	グループワーク（７）(対面)
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030B7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	片山 健介 / Kensuke Katayama		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	片山 健介 / Kensuke Katayama		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	片山 健介 / Kensuke Katayama		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kenkata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環424		
担当教員TEL/Tel	095-819-2737		
担当教員オフィスアワー/Office hours	訪問を希望する場合は、事前に電子メールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で行う。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等(対面)
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第5回	グループワークの開始（１）(対面)
第6回	図書館資料収集ガイダンス(対面)
第7回	グループワーク（２）(対面)
第8回	グループワーク（３）(対面)
第9回	グループワーク（４）(対面)
第10回	教務委員によるポートフォリオの使い方の説明と実践(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク（５）(対面)
第13回	グループワーク（６）(対面)
第14回	グループワーク（７）(対面)
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030B8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-hamasaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環4 4 9（環境科学部4階）		
担当教員TEL/Tel	095-819-2742（研究室直通）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週金曜16:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等(対面)
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第5回	グループワークの開始（１）(対面)
第6回	図書館資料収集ガイダンス(対面)
第7回	グループワーク（２）(対面)
第8回	グループワーク（３）(対面)
第9回	グループワーク（４）(対面)
第10回	教務委員によるポートフォリオの使い方の説明と実践(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク（５）(対面)
第13回	グループワーク（６）(対面)
第14回	グループワーク（７）(対面)
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030B9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	服部 充 / Hattori Mitsuru		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	服部 充 / Hattori Mitsuru		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	服部 充 / Hattori Mitsuru		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mhattori@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環440（あらかじめアポイントメントをとったうえでご訪問ください）		
担当教員TEL/Tel	095-819-2759		
担当教員オフィスアワー/Office hours	あらかじめアポイントメントをとっていただければ、基本的に対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等(対面)
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第5回	グループワークの開始（１）(対面)
第6回	図書館資料収集ガイダンス(対面)
第7回	グループワーク（２）(対面)
第8回	グループワーク（３）(対面)
第9回	グループワーク（４）(対面)
第10回	教務委員によるポートフォリオの使い方の説明と実践(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク（５）(対面)
第13回	グループワーク（６）(対面)
第14回	グループワーク（７）(対面)
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030C1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	久保 隆 / Kubo Takashi		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	久保 隆 / Kubo Takashi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	久保 隆 / Kubo Takashi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kubo-t▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	環境科学部 環335		
担当教員TEL/Tel	095-819-2756		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等(対面)
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第5回	グループワークの開始（１）(対面)
第6回	図書館資料収集ガイダンス(対面)
第7回	グループワーク（２）(対面)
第8回	グループワーク（３）(対面)
第9回	グループワーク（４）(対面)
第10回	教務委員によるポートフォリオの使い方の説明と実践(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク（５）(対面)
第13回	グループワーク（６）(対面)
第14回	グループワーク（７）(対面)
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030C2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西山 雅也 / Nishiyama Masaya		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	西山 雅也 / Nishiyama Masaya		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	西山 雅也 / Nishiyama Masaya		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-248ma@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環311-2		
担当教員TEL/Tel	095-819-2749		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後。これ以外にも事前の連絡（メールまたは電話）と調整があればいつでも可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業実施方法（対面形式か、オンライン形式（オンデマンド）か）は、「各回の授業内容・授業方法」の欄に示した。ただし、状況によって変更する場合もある（その場合はLACSで連絡します）。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等(対面)
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第5回	グループワークの開始（１）(対面)
第6回	図書館資料収集ガイダンス(対面)
第7回	グループワーク（２）(対面)
第8回	グループワーク（３）(対面)
第9回	グループワーク（４）(対面)
第10回	教務委員によるポートフォリオの使い方の説明と実践(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク（５）(対面)
第13回	グループワーク（６）(対面)
第14回	グループワーク（７）(対面)、レポートの提出
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、まとめ（講評、総括）(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030C3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 真弘 / Masahiro Yamaguchi		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	山口 真弘 / Masahiro Yamaguchi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	山口 真弘 / Masahiro Yamaguchi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masah-ya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	342番教室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2744		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メール等により事前に連絡があれば随時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標 / Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード / Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
受講要件（履修条件） / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等(対面)
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第5回	グループワークの開始（１）(対面)
第6回	図書館資料収集ガイダンス(対面)
第7回	グループワーク（２）(対面)
第8回	グループワーク（３）(対面)
第9回	グループワーク（４）(対面)
第10回	教務委員によるポートフォリオの使い方の説明と実践(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク（５）(対面)
第13回	グループワーク（６）(対面)
第14回	グループワーク（７）(対面)
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030C4	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	利部 慎 / Kagabu Makoto		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	利部 慎 / Kagabu Makoto		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	利部 慎 / Kagabu Makoto		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kagabu@nagasaki-u.ac.jp（利部）		
担当教員研究室/Office	環境科学部2階 環245		
担当教員TEL/Tel	095-819-2771		
担当教員オフィスアワー/Office hours	教員の在室時いつでも（事前に連絡をして調整することが望ましい）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等(対面)
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第5回	グループワークの開始（１）(対面)
第6回	図書館資料収集ガイダンス(対面)
第7回	グループワーク（２）(対面)
第8回	グループワーク（３）(対面)
第9回	グループワーク（４）(対面)
第10回	教務委員によるポートフォリオの使い方の説明と実践(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク（５）(対面)
第13回	グループワーク（６）(対面)
第14回	グループワーク（７）(対面)
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030C5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高巢 裕之 / Takasu Hiroyuki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	高巢 裕之 / Takasu Hiroyuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	高巢 裕之 / Takasu Hiroyuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takasu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環境科学部3階 環332-1室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2752		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後（これ以外にも、メール等による事前連絡があれば、随時対応します）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等(対面)
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第5回	グループワークの開始（１）(対面)
第6回	図書館資料収集ガイダンス(対面)
第7回	グループワーク（２）(対面)
第8回	グループワーク（３）(対面)
第9回	グループワーク（４）(対面)
第10回	教務委員によるポートフォリオの使い方の説明と実践(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク（５）(対面)
第13回	グループワーク（６）(対面)
第14回	グループワーク（７）(対面)
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030C6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 典之 / Yamaguchi Noriyuki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	山口 典之 / Yamaguchi Noriyuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	山口 典之 / Yamaguchi Noriyuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部 1 年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noriyuki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環 243 室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2751		
担当教員オフィスアワー / Office hours	昼休み（12:00-12:50）は部屋にすることが多いですので来てもらって大丈夫ですが、確実にするためにはメールや電話でアポをください。お互いに調整しましょう。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標 / Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード / Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等(対面)
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第5回	グループワークの開始（１）(対面)
第6回	図書館資料収集ガイダンス(対面)
第7回	グループワーク（２）(対面)
第8回	グループワーク（３）(対面)
第9回	グループワーク（４）(対面)
第10回	教務委員によるポートフォリオの使い方の説明と実践(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク（５）(対面)
第13回	グループワーク（６）(対面)
第14回	グループワーク（７）(対面)
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030C7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小山 光彦 / Koyama mitsuhiko		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	小山 光彦 / Koyama mitsuhiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	小山 光彦 / Koyama mitsuhiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	koyama.m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟 環228室		
担当教員TEL/Tel	098192761		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時はいつでも可（できる限り上記メールアドレスに事前連絡ください）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等(対面)
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第5回	グループワークの開始（１）(対面)
第6回	図書館資料収集ガイダンス(対面)
第7回	グループワーク（２）(対面)
第8回	グループワーク（３）(対面)
第9回	グループワーク（４）(対面)
第10回	教務委員によるポートフォリオの使い方の説明と実践(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク（５）(対面)
第13回	グループワーク（６）(対面)
第14回	グループワーク（７）(対面)
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）(対面)